

「勝忠安福」 去勢産子は3ヶ月早く出荷しても 牛肉中オレイン酸含量が高い

福島県農業総合センター 畜産研究所 肉畜科

1 部門名

畜産－肉用牛－畜産栄養

2 担当者名

真船優美、齋藤大士、堀切真太郎、松田祐輝、佐藤尚史、原恵

3 要旨

オレイン酸合成能力および産肉能力に優れる県基幹種雄牛「勝忠安福」の肥育特性を解明するため、出荷月齢の違いによる試験を実施した。その結果、30ヶ月齢(県内平均出荷月齢)より3ヶ月早く出荷しても枝肉成績は同等だった。また、オレイン酸割合は両区とも県平均値より高く、生体では胸囲の増加が良好で、中軀の充実が著しい特徴を持つ牛であることがわかった。

(1) 飼料給与方法は、当所の慣行肥育法に準じた。

(2) 枝肉成績は、両区とも同等だった(表1)。オレイン酸割合は令和3年県内去勢平均値と比べ、27ヶ月齢出荷区で2.5ポイント、30ヶ月齢出荷区で3.2ポイント高かった。

(3) 前軀から中軀にかけての発達度合いを示す胸囲は、16ヶ月齢以降から正常発育曲線の上限界程度の発育で推移した(図1)。

表1 枝肉成績

	27ヶ月齢出荷区 (n=5)	30ヶ月齢出荷区 (n=5)
出荷月齢	27.0 ± 0.4*	29.6 ± 0.4
枝肉重量(kg)	501.6 ± 35.9	535.1 ± 42.4
ロース芯面積(cm ²)	61.6 ± 5.5	54.2 ± 4.7
バラ厚(cm)	8.9 ± 0.7	8.7 ± 0.8
皮下脂肪(cm)	2.7 ± 0.2	2.7 ± 0.5
歩留基準値(%)	74.7 ± 0.7	73.2 ± 0.8
BMS No.	7.4 ± 2.0	7.0 ± 1.4
オレイン酸(%)	54.5 ± 1.1	56.0 ± 2.0
オレイン酸県平均(%) ^{注1)}	52.0 ± 3.9	52.8 ± 3.2

※平均値±SD

注1)脂肪酸光学測定 (S-7040、(株)相馬光学)

測定時平均月齢：27ヶ月齢出荷区(n=58) 30ヶ月齢出荷区(n=131)

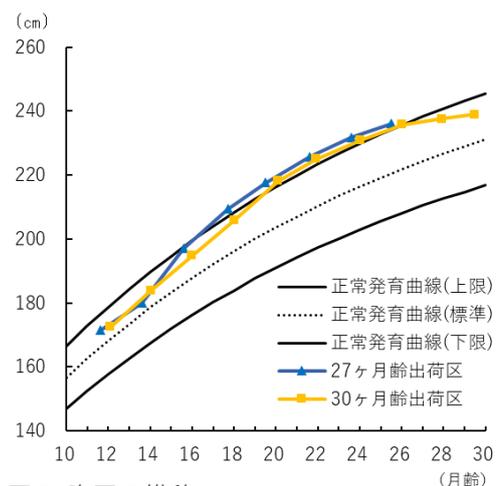


図1 胸囲の推移

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 新生「福島牛」ブランドの高付加価値生産システムの確立

5 主な参考文献・資料

(1) 黒毛和種肥育マニュアル, 福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場, 2007.

(2) 黒毛和種正常発育曲線, 公益社団法人全国和牛登録協会, 2004.